

# 子どもの生活考グループ研究会

グループ員：吉岡 由香子（こやのさと幼稚園） 安田 宏実（稲野幼稚園）  
南原 愛恵（南幼稚園） 辻口 浩子（桜台幼稚園）  
合田 新治（ささはら幼稚園） 大橋 由美子（みずほ幼稚園）  
村上 奈緒子（はなさと幼稚園） 山川 陽子（すずはら幼稚園）  
上所 陽香（いけじり幼稚園） 金光 容子（いけじり幼稚園）  
網木 彩（こうのいけ幼稚園） 倉田 裕子（こうのいけ幼稚園）

担当指導主事：藤本 裕子

キーワード：幼児 幼児理解 幼児教育

## 1 研究テーマ

「子どもの生活を通しての学びを考える」

## 2 研究内容

今年度も「子どもの生活を通しての学びを考える」という研究テーマに基づいて研修を行った。より具体的な話し合いを通して、日々の保育に活かしていく事ができるように、“子どもは環境の中で育つ”といった視点を基に、その時期ならではの実践や保育環境の写真などを教師が持ち寄り、学び合った。協議を進める中で、現在の保育の悩みを出し合ったり、提案者の写真資料をもとに子どもの姿から有効な環境構成について考え合ったり、教師の援助や幼児の学びの読み取りについて考えたりして研修を深めた。また、その時期の行事（園外保育や劇あそび）についての取り組みを情報交換し合い、子どもの生活の中で大切にしていく視点を学び合った。

事例1 須磨海浜水族園園外保育事前事後の保育展開計画と保育の様子（4歳児、5歳児）

事例2 1学期の保育環境について（4歳児、5歳児）

事例3 気持ちのコントロールや集団生活が難しい子どもに対し、スモールステップで自信をつけていく保育の実践（5歳児）

事例4 2学期の保育環境について（4歳児、5歳児）

事例5 劇あそびに向けての保育環境について（4歳児、5歳児）

## 3 成果と課題

### (1) 成果

- ① 例年までの事例研修に加え、実際の保育環境の写真を持ち寄り学び合う場をもつことで、教師のねらいや、その環境をとおしての子どもの学びについて、より具体的に理解することができた。
- ② 事例研修では、幼稚園生活の中で一人ひとりの学びが保障されるように、教師が子どもの学びの段階を丁寧に捉え、個に応じた学びの環境を整えていくことや、子どもの今の姿をしっかりと見取っていく幼児理解の大切さを再認識することができた。
- ③ 日々の保育での悩みについて情報交換を行うことによって、即実践に繋がる学びを得ることができ、明日に繋がる手立てや活力を得ることができた。

### (2) 課題

「子どもの学びを教育要領に照らし合わせる」という前年度の課題に対する計画を十分に立てられていなかった。来年度は、研究内容の中に計画的に位置付ける必要がある。